



職場紹介

NST — 栄養サポートチーム —

入院患者さんに最適な栄養管理を提供するためNST（Nutrition Support Team、栄養サポートチーム）の活動をしています。NSTとは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、歯科医師などで構成された医療チームのことです。栄養状態を評価し、適切な栄養補給方法の提案や栄養管理方法の提案をおこなうことで、栄養状態改善、治療効果の向上、合併症予防、QOL（生活の質）向上などを活動目的としています。

当院は、全ての患者さんを対象に、栄養状態のリスクがあるか入院時に評価します。体重減少や現体重

（BMI）、食事摂取量、急性疾患・ストレスの影響などの項目から栄養スクリーニングをおこないます。その結果を踏まえて管理栄養士が、総合的な栄養評価をします。その評価はMUST、MNA-SFというツールを用いており、低栄養の診断はGLIM基準を用いて実施しています。実施後、栄養状態にリスクがあると判断した方、褥瘡（床ずれ）のある方、食欲不振の方などを対象にNST回診を週1回おこなっています。

NST回診では、実際に患者さんの身体や食事の摂り方などを観察します。回診後に、医療チームで得た情報（既往歴、血液データ、食事摂取量、投与カロリーと摂取カロリーなど）から改善点や問題点を抽出し、さらに治療効果を高めることが可能か検討します。そして、栄養補給方法や食事内容の変更、修正、提案などにつなげていきます。

栄養科は、対象となる患者さんとお話することで、食事内容や摂取状況、嗜好などの情報をもとに、適した栄養療法を提供したいと努めています。看護師やリハビリスタッフなどの多職種と情報共有し、より適した食事量へ変更や、栄養補助食品の活用などの提案もおこなっています。実際にNSTが介入することで、摂取量の増加や褥瘡治癒など栄養状態の改善につながっている事例も多くあります。

栄養状態は治療の基礎となるものです。患者さんに寄り添い、よりよい医療のために今後も活動を続けていきます。

栄養科 渭原



お知らせ

きたぞうバスの

5月1日
より

運行回数を変更します

このたび運行体制の見直しに伴い、きたぞうバスの運行回数を変更させていただくこととなりました。

変更前 1日4便



変更後 1日3便

ご利用のお客様にはご不便おかけいたしますが、何卒理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



〒431-3113

静岡県浜松市中央区大瀬町1568

TEL (053)-435-1111

FAX (053)-433-2700

Webページはこちら (QR) >>



盛翔会だより

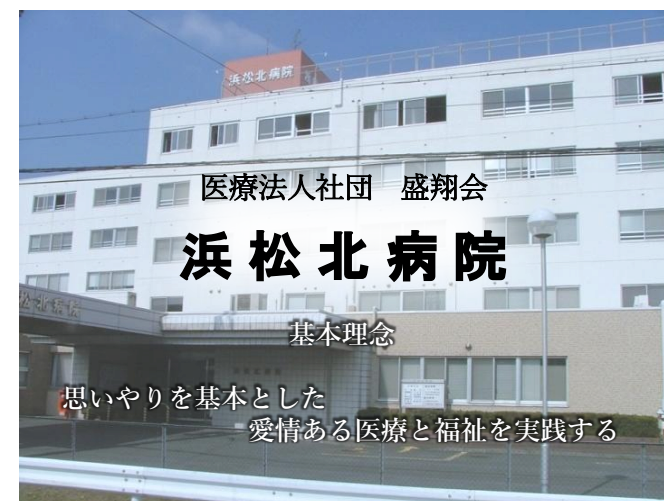
翔き

はばた

2025
夏号
No.78



2025年度新入職員歓迎会
新しい仲間を迎えて、
あたたかな雰囲気にもわれました！

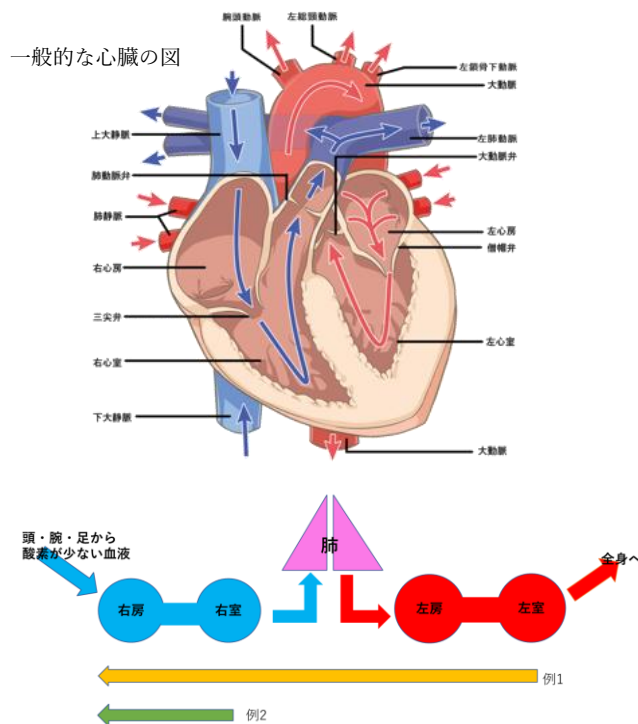




やさしい心不全治療の話

- 左心不全と右心不全 -

こんにちは。内科医師の玉嶋です。今年度から一般内科と循環器内科を担当しています。心臓の病気（心不全）を治療中に「利尿剤で体の水分を減らしたり、逆に点滴で体の水分を増やしたりするのはなぜか」と質問されることがあります。今回は、心不全の患者さんに利尿剤や点滴をする理由についてお話しします。その仕組みを説明するときに一般的な心臓の図だと難しいので下の図を用いて説明しています。



どこから血液が滞っているか考えると、どうしてこの治療をするのか、分かりやすいかもしれません。脳・手足・肝臓・腎臓などから戻ってきた酸素の少ない血液（青色）は、静脈→右心房→右心室→肺動脈を経て肺で酸素をもらい酸素の豊富な血液（赤色）に変化します。

酸素を受け取った血液は、肺静脈→左心房→左心室→大動脈を経て全身へ流れていきます。

例1：左心室の働きが弱くなった例（左心不全）

左心室の働きが弱くなると左心室からの血液の送り出しができなくなり、滞った血液（水分）が肺にあふれていきます。その結果、肺に水分がたまり息切れなどの症状が出ます。そこで、肺に貯まった血液・水分を利尿剤でおしっことして体の外へ出すようにします。そうすることで肺や体にあふれた水分を減らし血液・水分の滞りを解消します。

しかしながら、利尿剤で水分を減らしすぎると脱水症状がでてしまったりします。また利尿剤を使用して腎臓の血液・水分の流れる量が少なくなりすぎると腎臓の働きを反映しているクレアチニン値が高くなっていることがあります。

例2：右心室の働きが弱くなった例（右心不全）

心筋梗塞などで右心室の働きが弱くなると右心室からの血液の送り出しができなくなり、肺や左心室に十分な血液が行き届かなくなってしまいます。このようなときは点滴で血液のボリュームを増やして肺や左心室までたどりつく血液を増やす試みをします。

このように心不全でも左心不全や右心不全で治療法が異なることがあります。実際の外来治療では、右心不全より左心不全の患者さんの方が多くみられます。日本の心不全の患者さんは社会の高齢化に伴って今後もまだまだ増え、2030年には130万人に達すると予想されています。心不全治療だけでなく少しでも皆さんの治療にお役に立てるように日々努力していきます。今後ともどうぞよろしくお願いします。

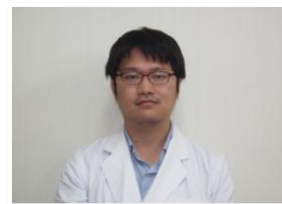
玉嶋 林太郎 医師

内科・循環器科

外来診療時間

水曜日・木曜日

9:00 ~ 11:30



五穀豊穡 合鴨部隊

遠州大念仏の季節。夜になると太鼓を叩く音がどこからともなく聞こえてきます。念仏は、三方原の合戦で亡くなった武田の兵を鎮めるため始まったとされています。400年以上前から続いておりありますが、近年 担い手不足で廃れつつあります。私の参加する地区では、大人が子供を連れて練習に参加しています。親公認の夜間外出なので子供はハイテンション。子供は楽しみながら親から踊りを習います。やがて子供は親となり また子供を連れて…と、いった具合に念仏を伝える事が出来ているのです。本番に向けての練習は田んぼの中にある公会堂で行うのですが、人の気配に驚きバシャバシャと大きな音を立て騒ぐ生き物がいます。合鴨の雛達です。田に人為的に放たれた彼らは、泳ぐ事で雑草が抜け、水を攪拌する事で、稲の根には酸素が供給されます。害虫をついばみ、糞は肥料に。ピョピョ可愛い声を上げ愛嬌を振りまいているだけでなく、稲の生育には欠く事のできない存在なのです。毎夜 念仏太鼓で驚かし猛省している私なのであります。

彼らが一役買って実ったお米ですが、店の棚から姿を消し、価格も2倍以上に膨れ上がっております。一向に治まる気配のない米不足。茶碗に数粒貼り付いたお米に対し、『勿体ない』『粗末にするな。目がつぶれるよ』と親に教えられ育ちましたが、こうなってみると米に限らず食べ物有難さが身に染みて実感できる今日この頃。フードロスの無いように、またお金をかけないように冷蔵庫に眠った食材で何か一品作ってみましょう。（食べ物が傷みやすい時期なのでご注意ください）

【夏バテ防止 南蛮漬け】

〈ざっくりした説明ですみません〉

① 鶏肉（豚肉）+片栗粉でまぶし170℃位の油で揚げる

② 野菜を食べやすくカットし素揚げ

①+②を熱いまま漬け汁に入れる。

※漬け汁…麺つゆ+酢+砂糖+みりん少量+薬味（ミョウガ・大葉の千切）

冷蔵庫でしばらく寝かせ完成です。食欲の落ちたこの時期にこそ是非どうぞ

管理栄養士 青山